

**糞便性腸閉塞の加療のため
受診中あるいは受診経験のある患者さんまたはご家族の方へ
臨床研究に対するご協力のお願い**

愛媛県立中央病院では、上記の病気で受診された方の検体や診療情報(カルテ情報)を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。

本研究への協力を望まれない場合、研究についての詳しい情報を希望される場合などは、その旨、以下の「問い合わせ先」までご連絡をお願いします。本研究への協力を望まれない旨のご連絡を頂いた場合は研究対象からは除外させていただきますので、検体や診療情報は利用されず、また他の研究機関への提供も行いません。

【研究課題名】

糞便性腸閉塞の予後に関連する因子に関する研究

【研究の目的】

糞便性腸閉塞とは腸に便が大量に留まり排出することができない疾患です。糞便性腸閉塞は時に腸管穿孔や閉塞性大腸炎など重篤な合併症を引き起こします。しかし本邦においては糞便性腸閉塞が悪くなる要因について十分検討がされていません。本研究は、糞便性腸閉塞の適切な治療計画をたてることに役立つ可能性があります。

【対象となる方】

当院に入院され糞便性腸閉塞と診断された患者さん。

【使用する検体・診療情報】

検体:なし

カルテ情報: 診断名、年齢、性別、身体所見、既往疾患、
検査所見(血液検査、画像検査、内視鏡検査)

【研究期間】 臨床研究審査委員会承認日から 2035 年 8 月 7 日

【個人情報の取扱い】

使用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定できる個人情報は削除します。

また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

愛媛県立中央病院 消化器内科 医長 北畑 翔吾

【問い合わせ先】

松山市春日町 83 番地

愛媛県立中央病院 消化器内科 医長 北畑 翔吾

電話 089-947-1111 FAX 089-943-4136